

令和7年度

# 東明小だより

令和7年8月29日  
第7号



## 地域ぐるみで見守られ、育まれる子どもたち



校長 中嶋 聡子

41日間の夏休みが終わりました。学校には、子どもたちの元気な笑顔が戻ってきました。教室で夏休みの宝物を発表する子どもたちの表情は、どの子もいきいきとして充実した夏休みだったことが伺えます。

私も、地区センターを会場に行われた「夏の自然体験学習会」へ参加させていただいたり、PTA家庭教育学級の「親子で手打ちそば体験」を見学させていただいたりしました。そのどちらも、地域の講師の方から作り方を教えていただき、楽しく活動している子どもたちの様子を見て、東明小学校の子どもたちは、地域ぐるみで見守られ育まれているのだなと感じました。

また、PTA 環境整備作業では、保護者の皆様に加えて、自治会の皆様、消防団の皆様、歴代PTA 会長の皆様、学校運営協議会の皆様等、たくさんの地域の皆様の「子どもたちのために」というお気持ちが集まって、除草作業や図書室の整備、カーテンの洗濯を行っていただきました。本当にありがとうございました。

今年は、昨年度よりも1か月早く、子どもたちと運動場の草取りを開始しました。なかなか雨が降らないので子どもの力では、抜くことが難しい草が多く、1本1本が大きく育ってしまいました。さすが保護者・地域の方のお力です。1時間でしたが、草捨て場には、大きな草の山ができました。

皆様のお気持ちがあって、運動場・図書室・カーテンがきれいになったことを全校の子どもたちに伝えていきたいと思います。心から御礼申し上げます。ありがとうございました。



← この草が⇒こうなりました⇒